

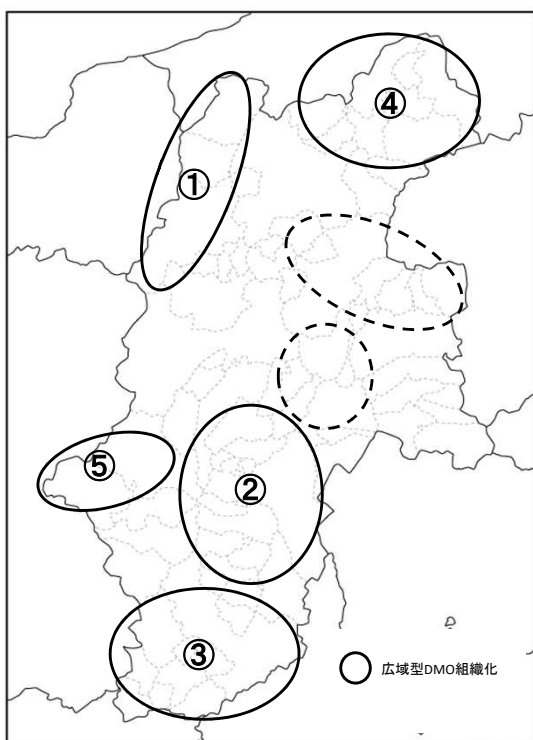
観光地域づくりの推進  
～HAKUBA VALLEYへの重点支援～

# 観光地域づくりの推進 ～HAKUBAVALLEYへの重点支援～

- ◆「長野県観光戦略2018」に基づき、県内の観光地域づくりの担い手として広域型DMO・DMCの形成・確立を目指すとともに、「重点支援広域型DMO」を指定し、ソフト・ハード両面から重点的に支援することで、「世界水準の山岳高原リゾート」を目指します
- ◆令和元年に「重点支援広域型DMO」に指定（第1号）した（一社）HAKUBAVALLEY TOURISMを中心とした「稼ぐ」観光地域づくりを地域とともに進めるため、ソフト・ハード両面にわたって重点的に支援し、観光産業の振興と信州ブランドの向上を図ります

## ○県内の広域型DMOの形成など観光地域づくりの推進

（一社）長野県観光機構に「DMO形成支援センター」（2018.4設置）に専門人材を配置し、県内7地域を支援



### 体制づくりにおける主な成果

- ①（一社）HAKUBAVALLEY TOURISM  
[重点支援広域型DMO]  
法人設立、観光庁本登録（2019）
- ②（一社）長野伊那谷観光局  
法人設立、観光庁候補登録（2018）  
本登録（2019）
- ③（株）南信州観光公社  
観光庁DMO本登録（2018）

### エリア内連携などの主な成果

- ④（一社）信州いいやま観光局  
サイクリングなどの広域商品の  
企画販売等
- ⑤（一社）木曾おんたけ観光局  
インバウンド向け商品造成 等

## ○HAKUBAVALLEYにおける重点支援

地域の特色ある観光地域づくりや目指す姿実現に向けて、ソフト・ハード両面から重点的に支援

### HAKUBAVALLEYの広域型DMO形成計画

～「世界から選ばれる山岳観光地域の構築」に向けて～

#### エリアのコンセプト

世界に誇る雄大な北アルプスの自然環境、日本らしさを感じる地域文化を背景に、観光客を魅了する満足度の高い滞在環境を提供し、SDGsの観点を取り入れ、観光を軸に地域経済が豊かに循環し、そこに住む人々が誇らしく生活できる地域

#### 目指すべき観光地域の姿(将来像)

- ①滞在するだけでも楽しい「まち」
- ②世界からの顧客を受け入れられる環境
- ③サステイナブルツーリズムを実践

中期計画(5年間)  
ブランディング・コンテンツの磨き上げ  
観光地経営のベースの引き上げ

# 令和3年度「HAKUBAVALLEY」への重点支援(2年目) [令和2年度から3か年]

<重点支援の目指す方向性> 世界のリゾートと競い合う「通年型山岳高原リゾート」の形成  
国内外から多くのファンを惹きつけるため、SDGsの観点を取り入れ、多様な産業を巻き込みながらサステイナブルツーリズムを展開するとともに、観光を基軸とした持続可能なまちづくりを進める

重点分野:観光振興方針(安全・安心、長期滞在、リピーター)、ゼロカーボン、DX

令和3年度予算額(案) 237,107千円 [R2予算: 199,522千円] ( )の金額を除く  
うち観光地域づくり重点支援事業(※) 20,000千円[R2予算: 20,000千円]

## I 滞在するだけでも楽しい「まち」づくり [観光部 建設部 林務部]

### 誰もが日本文化と雄大な自然景観を感じられるまちづくり

エリア内周遊バスの効率化・多言語化に向けた交通サイン等の統一 1,000万円※  
HAKUBAVALLEY中心部の白馬駅前の無電柱化を核とした景観整備 1億8,000万円  
観光地等の魅力向上に向けた森林景観整備(3,500万円の内数)、専門家等と連携した古民家の再生・活用(180万3千円の内数)

## II 世界から顧客を受け入れる環境づくり [観光部 建設部 環境部 県民文化部 教育委員会]

### 「稼ぐ」仕組みの形成に向けた基盤づくり

旅行者がストレスなく、安心してまちあるきできる環境(キャッシュレス・Wi-Fi等)を整備し、満足度向上に向けた通年でのマーケティングデータの収集・分析 500万円※  
二次交通からアクティビティ・宿泊施設等をワンストップで予約・決済できるWEBサイトの構築に向けた取組 150万円※

### 雄大な山岳環境を安全に楽しめる環境づくり

「Japan Alps Cycling Road」の整備によるブランド構築(5億4937万円の内数)  
中部山岳国立公園等における登山道などを整備 2,094万5千円

### 世界を惹きつける伝統文化・芸術の振興

「北アルプス国際芸術祭」の開催を支援 1,000万円  
「信州の伝統芸能フェスティバル」の開催を支援 446万2千円  
「コンチネンタルカップサマージャンプ白馬大会」の開催を支援 170万円

## III サステイナブルツーリズム等のブランドづくり [観光部 企画振興部]

### サステイナブルツーリズムの推進

クリーンモビリティ(電気自動車等)の実証によるゼロカーボンの推進 100万円※  
SDGsのブランディングに向けたHAKUBAVALLEYビジョンの普及・促進 50万円※  
広域での観光に関する経済波及効果を測定するための産業連関分析を支援

### 安全・安心な観光地域づくり

HAKUBAVALLEYクリーン認証制度など事業者と連携した  
エリア一体での感染症対策の推進 200万円※

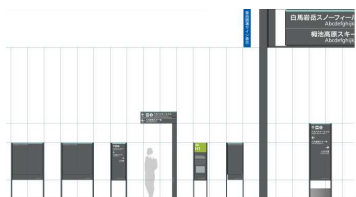
# 【参考】 令和2年度「HAKUBAVALLEY」への重点支援 ～地域の取組～

◆重点支援の初年度として、「重点支援広域型DMO」（一社）HAKUBAVALLEY TOURISMは「世界から選ばれる山岳観光地域の構築」に向け、エリア一体で新型コロナウイルス感染症対策に取り組みつつ、国内外から選ばれる環境整備を実施

## I 滞在するだけでも楽しい「まち」

スキー場とベースタウンの再開発により魅力的な施設が集積し、それらを結ぶ移動手段を確保します

雄大な自然や日本文化などHAKUBAVALLEYだからこそ味わえる景観を守りつつ、旅行者の魅力度向上につながる環境整備を実施



照明や案内サイン等のデザインを統一する景観デザインコードを策定



デザインコードに基づき、三市村の駅前やスキー場の案内看板を整備

10のスキー場すべてで統一



観光庁補助金を活用し、スキー場にムービングベルトや人工降雪機等を導入

## II 世界から顧客を受け入れる環境

国内外から顧客を受け入れる環境が整い、長期滞在の実現とファン獲得を目指します

エリア一体での安全・安心な観光地域を目指し、国内外から顧客を呼び込む環境整備を実施

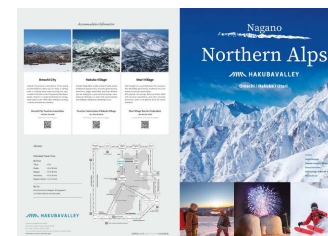
1. 対人距離の確保
2. 手指の消毒設備の設置
3. マスクの着用
4. 施設の換気
5. 施設の消毒



エリア一体で感染防止対策を実施するため、HAKUBAVALLEYクリーン認証を実施



安全なスキーを楽しんでもらうため、エリア統一のバックカントリールールを作成



国内外の顧客に分かりやすく情報を伝えるため、エリア統一のWEBサイト等を構築

市村を中心に木崎湖キャンプ場や南小谷駅などでWi-Fi環境やトイレの洋式化等を実施

## III サステナブルツーリズムの実践

エネルギーなど多様な資源の地産地消による経済循環により持続可能な観光地を目指します

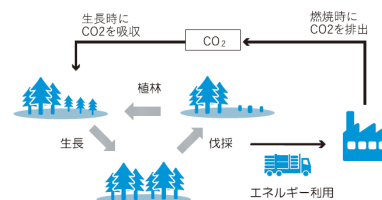
多様な関係者を巻き込んだエリア一体での持続可能な観光地域づくりへの取組を実施

自然の豊かさとの豊かさにあふれる持続可能な山岳エコツーリズムの聖地へ

- ・ 多様な生き物を育む北アルプスの山、雪、水をもたります
- ・ 自然の恵みをいかして、食べ物やエネルギーの地産地消をめざします
- ・ 人にも自然にもやさしく、住む人も訪れる人も誰もが幸せを感じられる豊かなまちをつくれます
- ・ 先人の知恵を大切にしながら、新たな技術で変化を生み出し、より良い社会をつくれます
- ・ 未来の世代に持続可能な地域を受け継ぐため、共に学びあひみんなで行動します



エリア一体でSDGsに取り組むため、HAKUBAVALLEYビジョンを策定し、事業者の取組を調査



温暖化防止や地域資源の循環のため、白馬村役場に木質バイオマスを活用した薪音風機を導入



白馬村・小谷村の気候変動等の宣言に加え、大町市がSDGs未来都市に選定